

◎ 教育目標



よく考え学ぶ子  
思いやりのある子  
元気でよく働く子

# みどりっ子

日光市立大室小学校



学校だより  
No. 3  
H26. 5. 28

## 「なかよしの森」の思い出

この話は、まだ大室小学校に「なかよしの森」があったころ、今から10年以上も前の話です。

今の体育館ができるまでは、今の体育館の場所には「なかよしの森」という名の学校林がありました。

「なかよしの森」には登り棒やジャングルジムなどの遊具があり、アスレチックがあり、青空教室（石製の机や椅子）などもありました。「なかよしの森」は、子どもたちの遊びの中心でした。

当時学級担任をしていた私に、保護者から連絡帳を通じて1通の手紙がきました。

『「なかよしの森」の中の木の根っこが土から出ていて危ないと思う。子どもたちがつまずいて転ぶかもしれない。何とかしてほしい。』というような内容でした。

子どもの安全を願う保護者の気持ちは分かりますが、「何とかする」には木の根っこを切るか、埋めるかしなければなりません。根っこを切れば木は枯れるし、砂や土で埋めても木にはいいことはないでしょう。

困った私は、校長に相談しました。校長は困っている私を尻目に、あっさりと、本当にあっさりと、こう言いました。

「そんなこと、たいしたことじゃあない。根っこに気を付けて遊びなさい、と指導すればいいんだよ。」

予想もしていなかった校長の言葉に、私は面食らいましたが、すぐに納得しました。目の前のことに目を奪われていた私、子どもの将来を見据えていた校長…、この違いは大きい、と。

目の前の危険をその都度保護者が取り除いてあげれば、子どもは危険な目に遭うことはないでしょう。しかし、自ら危険を見付け回避する能力は子どもにはつきません。時にはこの校長のような対応も、子どもの将来の自立に向けて大切なことであり、必要なことだと思います。

当時の校長のような懐の深さを私ももち続けていきたいと思っています。

※ 「なかよしの森」があったころの大室小学校の様子は、校長室前廊下に掲示してある航空写真の中で「1990年版」と「1997版」で御覧いただけます。また、「なかよしの森」の中にあつた遊具等は「1981年版」で御覧いただけます。

来校された際にはぜひ御覧ください。

## 雨の日の登校風景から

もう成人している私の娘が小学校4年生のころですから、こちらも10年以上も前のことです。

宿泊学習に行く日、我が家は当然のごとく、子どもに大荷物を持たせ、普段どおり徒歩で学校に登校させました。私が教師に成り立てのころはそういうのが当たり前だったし、また、そうすることが当然だと思っていました。その当時私が担任していた子どもの中には、学校まで4km歩きで登校し、歩きの遠足で12km山登りをし、家まで4km歩いて帰り、また4km歩いて学校まで遊びに来る、という強者もいたくらいですから。

しかし、歩かせて登校させた家は、当時でも我が家とあと一件だけ。他の家庭は皆、保護者の車で登校でした。いくら何でも我が子がかわいそうになり、結局、我が家も宿泊学習からの帰りは子どもを車で迎えに行きました。

時は移って平成24年5月19日（水）。

この日は朝から雨。歩いて登校する子どもの姿が極端に少なく、駐車場には駐車エリアを無視して停車して子どもを降ろす車が目立ちました。「雨だから歩かせるのはかわいそう。」ということで車に乗せてきたのでしょうか。「子どもに手をかけてあげられるうちは、できるだけそうしたい。」という保護者の皆様の気持ちもあるのでしょうか。

そういう気持ちは私も保護者として十分に理解できながらも、根っここのことを論じてくださった校長だったらどう考えるのだろう…、次々と駐車場に入ってくる車を見ながら、そんなことを思いました。

## 今月の がんばる「みどりっ子」 たち

### 避難訓練 (4/28、5/20)

毎年、第1回目の避難訓練は、地震を想定した訓練を行います。

地震が発生すると揺れが収まるまでは机の下に体を入れて落下物等から身を守ります。その後、さらに大きな地震が想定されるということで、校庭に避難しました。



【地震発生…机の下にもぐって次の指示を待ちます】

第2回目の避難訓練は、火災を想定した訓練でした。給食室から火災が発生したので、校舎から避難するというものです。

殆どの子どもたちがハンカチで口を押さえ、真剣に避難することができました。

避難後には、子どもたち全員が煙体験をしました。テントに作られた煙道の中を身を低くして歩く訓練です。「煙で何も見えなかった。」という声がたくさん聞かれました。

消防署の方からは、「避難の仕方は100点満点です。」というお褒めの言葉もいただきました。



【口を押さえて走って避難】



【煙体験をしました】

どちらの避難訓練も、子どもたちは放送をよく聞き、教師の指示に従って真剣に行動できました。

\*避難の合い言葉

お（さない）、か（けない）し（やべらない）、  
も（どらない）

### みどりっ子活動結団式(5/23)

みどりっ子活動結団式が行われました。1年間、この縦割り班でみどりっ子活動（農園活動や緑化活動、ふれ合い活動等）を行っていきます。班長のあいさつからは、代表としての自覚や目標がよく伝わってきました。ゲームのチーム編成やルールにも低学年を意識し考慮していることが感じられました。

みどりっ子活動を通して子どもたちに豊かな心を育んでいきたいと思えます。



【開会の言葉】



【団長あいさつ】



【各班の班長のあいさつ】



【班の中で自己紹介】



【縦割り班で下学年を気遣いながら楽しく遊びました】



### 表彰関係

- 第34回全日本学童軟式野球地区予選大会  
優勝 大室ブルーサンダース
- 第38回上都賀地区少年サッカー春季大会  
3位 OMFC
- 第34回関東スポーツ少年団ホッケー交流大会  
女子の部 3位 大室HC
- 第9回日光市スポーツ少年団ミニバスケットボール大会  
優勝 大室
- 第33回関東小学生ソフトテニス大会栃木県選考会  
低学年女子の部 4位 K. F
- 第21回全日本空手道連盟糸東会栃木県選手権大会  
組み手の部 3位 T. H、M. R  
敢闘賞 W. A、A. Y  
形の部 3位 W. A、N. Y  
敢闘賞 T. H